

総合的な探究の時間 学習指導案

授業者：神戸山手女子中学校 教諭 永田 明子
場 所：332教室

1. 日 時： 2021年11月27日（土） 第4校時 11：45～12：35
2. 対 象： 高校1年1組 33名
3. 科目名： 未来探究の時間
4. 単元名： 観光予報データベースを活用したSTEAM&探究学習プログラム

5. 授業観について

○生徒観

本学級は、素直な性格であるものの、学業に苦手意識のある生徒が多い。しかし探究活動を通して、自信を持って人前で発言したり、独自の発想で物事を捉えたりするなど、それぞれの成長が見られている。

1学期から、初めての探究活動として、自分自身や身近な物を調べながら問題解決の手段を探っていった。自分なりに、動機→課題→仮説→検証→考察→結論の流れで、解決手段を探り、発表を行った。

兵庫県庁：兵庫県ビジョン若者未来講座、リクルート：高校生×Ringの探究活動プログラムに取り組んできた。

○教材観

自身の身近な地域や事象について考察できるため、生徒が興味関心を持って、取り組みやすい教材となっている。

また、自身の地域について知ることによって、多角的な物の捉え方を身に付けることができるのではないかと考えられる。観光業界におけるデータベースに実際に触れながら、テーマに対し、エビデンスを持って論理的に思考することは、将来、生徒たちにとって役立つ物だと考える。

○指導観

第1次から第4次までに、観光DSの使い方や課題解決をするための提案する作業を行ってきた。観光DSを使用することで、自治体ごとに人口・産業・気象などの基礎データを確認し地域の特徴をつかむことができる。また、平均値と比較、複数データとの相関分析することが可能になる。そのために根拠をもった結論を導くことができる。

第5次から第6次では、ポスターの制作を行いながら、データの分析と活用、図やグラフの挿入などICTスキルを身に付けた。さらに、論理的にまとめる手段・プレゼンテーションの手法も身に付けた。中間発表では、発表内容のブラッシュアップを図った。

第7次（本時）から第8次では、ジグソー法を活用し、一人ひとりの生徒が責任を持って発表し、プレゼンテーション能力も身に付けさせたい。次回の最終発表で、評価しあう。

6. 指導計画（合計10時間）

- (1) 観光予報DSを操作し、データの読み方を学び、活用する。…1時間
- (2) 探究する地域を選び、データから地域の魅力や課題を絞り込む。…1時間
- (3) 様々な情報等を活用し、探究する地域の魅力の増加策や課題の解決策を選択する。…2時間
- (4) 自分たちのプランを表現するためのポスターを制作する。…2時間
- (5) 中間発表を行う。各グループの発表を聞き、意見を伝え、寄せられた意見を分析する。…1時間
- (6) 中間発表の批評を元に提案の内容やポスターを改善する。…1時間
- (7) ジグソー法により、地域の「未来を創造する新たな提案」を発表する。…1時間（本時）
- (8) 最終発表を行う。…1時間

7. 本時の指導目標

各班の発表を聞き、審査する。

審査結果を踏まえて、自分たちのポスターや未来探究の学習活動を振り返りを行う。

8. 教材

未来探究ゼミナールワークブック(監修：N.E.L&M)
観光予報 DS・観光予報プラットホーム

9. 学習の流れ

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入	3分	【最終発表の事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業内容を確認する。 ・ジグソー法で発表を行い、付箋に意見や疑問を記入する。 ・評価や意見をワークシートにまとめ、各班で発表内容について、ブラッシュアップする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー法による発表の意味を伝える。 ・質問や疑問をすぐに付箋に記入し、各班がフィードバックできるように伝える。 ・プレゼンの代表的方法であるポスター発表の基本構成・内容を学習させる。 ・本時の活動が潤滑に進むようなワークシートを準備する。 ・教員が、司会進行を行う。 ・事前準備が、出来ていない班がないかを事前に確認する。 ・欠席者を確認し、グループ内の人数を調整する。
展開 ①	30分	【ジグソー法による各班の発表】 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター発表を行う。 ・ポスターの基本構成・内容を理解し、自身の作成する際の構成・内容を考える。 ・ポスター発表の際の注意事項を理解し、自分が発表するときのイメージを持つ。 ・各班2分間で発表し、質疑応答の時間を3分間程度設定する。(付箋の記入時間も含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマやポイント・参考資料を明確にし、エビデンスを明確に伝えさせる。 ・1人1つ以上の意見・疑問を出すことをルールとして、活発な意見交換の場を設けさせる。 ・発表から質問・意見の記入まで、スピード感をもって実践していくよう留意させる。 ・ポスター発表の際の注意事項を理解し、自分が発表するときのイメージを持ちながら、他班の意見を聞いていくように促す。
展開 ②	15分	【発表内容のブラッシュアップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで、回収した意見・疑問を持ち寄り、改善点を検討・再考する。 ・他の班と比較しながら、自班の課題を探る。 ・ポスター内容を修正する。 ・JTB から客観的な講評をいただくことで、最終発表につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ループリックの各評価項目を参考に、評価の着眼点を確認させる。 ・意見を分析し、良い点や改善すべき点を整理するように促す。 ・ポスター内容を修正する際に、「テーマとする内容の魅力をさらに伝えるために」を常に意識させながら改善策を探らせる。 ・各班が専門家(JTB)からの意見をくみ取れるように留意させる。 ・ポスターの修正まで至らない班は、修正の予定を立てさせる。 ・ワークシートを活用し、自身の発表に関する振り返りを行わせる。 ・ブラッシュアップが、上手く出来ない班には、教員がアドバイスをを行う。その際に、ヒントを小出しするように留意する。
まとめ	2分	【本時の振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> ・他者の発表を聞く・発表を複数回行うことでの気づきをワークシートにまとめる。 ・最終発表に向けての準備事項を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りが時間内に出来ない場合は、次回までの課題とさせる。 ・最終発表にむけてのブラッシュアップができているかを確認する。 ・最終発表時の評価内容(ループリック評価)を再確認させる。